

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

2016(28)年 週 報

10月9日

「御霊による一致」

第2聖日

第3476号

聖
言

そキリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。・・・」 (ピリピ二ノ六～八)

主の弟子となる²⁰

第三課 基本原則 御言葉を学ぶ(文献に当たる)

以下の解説は、この箇所を理解を深め、教えの内容を深く考えるためのものです。

コロサイ人への手紙二ノ六ノ八の短い注解を読む。

この聖句におけるパウロの関心は、信徒たちがいかに生きるかと言う生活領域全般に係わることでした。パウロが用いた「歩む」という言葉は、文字通り、人がどのような人生を過ごすか、また人生に起こり来る様々な出来事に対処するかを言っています。パウロは、教会が、受けた信仰にねざし、建てられ、堅くされることを願っています。彼らの「キリストを信じる信仰」は、救いとどまらず、生活のすべて領域にまで及ばなければなりません。この点を分かり易く説明するために、パウロは哲学の概念をもち出しています。この世にはこの世の哲学があり、「キリストにはキリストの哲学があります。この世の哲学は人間の伝統の上に築かれています。西洋思想史というように、中心的な概念は代々継承されてきたものです。キリストは完全な哲学を持っておられますが、それはこの世の哲学とは異なる原則に則っています。私たちは、一度どちらかの哲学を受け入れると、今度はその哲学が私たちを虜にします。

(CIBTE主の弟子より)

祈りのお願い

教会の後継者が与えられるように

神学生があたえられるように

一つ心になって互いに従順に神と人々に仕えるように

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

「奥義なる結婚」

「それはそうとして、あなたがたも、おのの自分の妻を自分と同様に愛しなさい。妻もまた自分の夫を敬いなさい。」

(エペソ五ノ三二)

恐れると言う事神様に関係することです。神様にたいして恐れるのは神に対してやましいことを隠しているからです。やましいことをしてはいないと恐れる事はないのです。それで、敬いなさい、恐れなさい。神様の前に恥かしいように、それと同じように、夫の前に隠しだてのないように、二人の間はオープンにしていなくてはなりません。現代は夫婦であっても干渉しないというのではなく、互いに隠し立てをしないように。

「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰を伴っているからです。恐れるものの愛は、全きものとなっていないのです。」(一四・18)。これは、親子や奴隷との関係にもいえます。ここだけの話しや、内緒というのには恐れをとめないです。夫は妻を愛するということ畏敬と尊厳の両方を含んでいます。

教会とキリストの関係

互いに愛し合いなさい。気にいらないうって、分裂してはいけません。日本宣教会議にいきました。世界から日本から二千名有余のクリスチャンが会した二〇年に一度の集いです。そこでクリストファー・ライトのメッセージはイエス様の前に立つのは教派、教団でなく、神様が計画された福音の物語を受け入れ、キリストの十字架の血潮により、罪から購われた者である。だから、礼拝の方法の違いで分裂するの「でなく、それぞれを認めあって、新しい神の新天地に生きる者として福音を喜んで宣べ伝える。今、私立ちの教会は福音を喜んで伝えていくのでしょうか。自分のこのみで、人を排斥しているのではないのでしょうか。異質なものを排除して、じぶんたちの居心地を脅かす

者を好まないのではないのでしょうか。牧師がおらないと、何をしたいのか、死んだ先のことは、考えていないのでしょうか。神様は一人でも牧師がおらなくても、自発的に喜びをもって福音をつたえるようにとねがっておられます。福音はそれほど魅力的なものです。イエス様はそれほど素晴らしいお方です。入院中は天国のような毎日でした。しかし、今は地獄のような日々です。人間の感情はいつも揺れ動きます。日本では毎年三万余が自死しています。私もその中の一人になっていても不思議ではありません。心を満たすものもがいつも変化するのだから、地獄と天国を上がったたり下がったりしています、自分をサウロ王のような嫉み深い、ダヴィデを殺そうとして、神様からも捨てられたようなあわれな者としか見えないのです。しかし、イエス様はこんな者の為に死んで、三日目に甦られたことを信じて心に平安を与えられるのです。地獄のような生活でも、イエス様に会えること。祈れることは最高の幸せです。もし、これがなければ、私は行き詰って自死しているでしょう。この心を見たくてくださるのはイエス様以外におられないからです。

福音コンサート

一〇月一〇日(月)祝日 昼二時

集会案内 食事 正午〜午後〇時五〇分

案内 午後一時〜午後一時五〇分

外の司会 山本牧師

外の証し 庄司久子姉

内の集会 午後二時〜四時

一、コンサート 水野夏子さん

二、話し 岡山聖成キリスト教会牧師 足達 和章師

「荒野に水湧く」(イザヤ三五ノ六)